

教育のブランド化(子育て島構想)による若者定住促進事業

島根県海士町

概要

○ 過疎地域において、あまり注目されてこなかった「教育・子育て」を切り口にしたブランディングを行い、子どもや若者、若い家族のUIターンを呼び込む新たなモデルづくりに取り組んだ。また地域で生業や事業を生み出す地域起業家育成のプログラムを開発、推進した。



事業の内容

事業内容

- 地域活性に関心が高い若者をインターン生として活用するとともに、社会起業家育成の第一人者による講座やアドバイスをもとに過疎地域の自立を促進する次世代の地域リーダーを育成・輩出する「地域起業家育成(まちづくり教育)」のプログラムの策定、教育環境の整備の推進を図った。
- 教育のブランド化(島前高校と島前地域の共有コンセプトの構築)及び統一的なPRツールを作成し、都市部でのイベントやWEBなどを活用した情報発信と生徒募集を行った。

ポイント

- 少子化の影響で存続の危機にある島前高校をレバレッジポイントとして集中的な事業展開を行った。

事業の成果

- 島前高校の入学第一志願者数が44名(前年度比約30%増)となり、数十年ぶりに募集定員を超えた。
- 東京や大阪をはじめ全国から意欲ある子どもたちが入学した(島前地域外からの入学者数15名)。
- この取り組みをモデルとして、他の過疎地域への横展開が始まった。(島根県はH23年度から離島中山間8地域で高校魅力化活性化事業を開始。鹿児島県は過疎地域の高校の振興策を検討する委員会を創設)